

□ キーワード：ベクトル方程式，平面，法線ベクトル

問題 2.4. 次の点 P_0 を通り，法線ベクトルが \mathbf{n} の平面の方程式を求めなさい。

- (1) $P_0 = (2, 1, 2)$, $\mathbf{n} = (2, -1, 1)$
- (2) $P_0 = (2, -2, 2)$, $\mathbf{n} = (-2, 3, 5)$
- (3) $P_0 = (2, -1, 1)$, $\mathbf{n} = (1, 1, -3)$

3 点を通る平面の方程式の求め方

3 点を A, B, C とする。

- (1) $\mathbf{u} = \overrightarrow{CA}$, $\mathbf{v} = \overrightarrow{CB}$ を求める。
- (2) $\mathbf{n} = \mathbf{u} \times \mathbf{v}$ を計算する。これが求める平面の法線ベクトルである。

問題 2.5. 次の 3 点を通る平面の方程式を求めなさい。

- (1) $(-1, -4, 3)$, $(2, 1, 2)$, $(1, 1, 4)$
- (2) $(-1, 1, -1)$, $(2, -2, 2)$, $(0, -5, 3)$
- (3) $(3, -2, 1)$, $(2, -1, 1)$, $(1, 3, 2)$

平面の媒介変数表示

$$\mathbf{p} = \mathbf{p}_0 + t\mathbf{u} + s\mathbf{v} \quad (t, s \text{ は実数})$$

- t, s を動かすと， \mathbf{p} はある平面上を動く。
- その平面は点 \mathbf{p}_0 を通る ($t = s = 0$ のとき)
- $\mathbf{u} \times \mathbf{v}$ はその平面の法線ベクトルである ($\mathbf{p} - \mathbf{p}_0 = t\mathbf{u} + s\mathbf{v}$ であるから， $\mathbf{p} - \mathbf{p}_0$ は \mathbf{u} と \mathbf{v} ととも直交する)。
- $\mathbf{p} = (x, y, z)$ とおくと， x, y, z は t と s の関数となる。

問題 2.6. 問題 2.5 の各問に対し，(i) 3 点を適当に A, B, C とおいて， $\mathbf{u} = \overrightarrow{CA}$, $\mathbf{v} = \overrightarrow{CB}$ を計算しなさい。(ii) 3 点から 1 点を選び，その点の位置ベクトルを \mathbf{p}_0 とする。さらに， $\mathbf{p} = \mathbf{p}_0 + t\mathbf{u} + s\mathbf{v}$ とする。 $\mathbf{p} = (x, y, z)$ とおくと， x, y, z を t と s を用いて表しなさい。(iii) (ii) で求めた 3 つの方程式から t と s を消去し， x, y, z の関係式を求めなさい。